

雲の上の英語塾 英文法の整理と演習	学習項目	種別	学年	学習日
	命令文	整理	1年	/
CAN-DO	「～なさい」、「～してください」、「～してはいけません」、「～しましょう」と表現できる			

①命令文の意味

命令文では、命令（～なさい）・依頼（～してください）・禁止（～してはいけない）・勧誘（～しましょう）などを表すことができます。

②命令文の種類とその形

【肯定の命令文】	～なさい	主語の You を省略して動詞の原形で文を始める Play the piano. (ピアノを弾きなさい。)
【依頼の命令文】	～してください	【肯定の命令】 の前か後に Please をつける Please play the piano. (ピアノを弾いてください。)
【禁止の命令文】 (禁止の文)	～してはいけない	【肯定の命令】 の前 に Don't をつける Don't play the piano. (ピアノを弾いてはいけない。)
【勧誘の命令文】	～しましょう	【肯定の命令】 の前 に Let's をつける Let's play the piano. (ピアノを弾きましょう。)

③命令文の確認点

- 動詞の原形で始めます
- be 動詞の含まれる命令文も、一般動詞の命令文と同じように原形の **Be** で始めます
 - **Be** a good student. (良い生徒でいなさい。)
 - **Be** kind to old people. (お年寄りには親切にいなさい。)
- 文の調子を強めたい時にはピリオドの代わりにエクスクラメーションマーク [!] を打つこともできます
- 命令文を読む時は文頭の語を強く発音します

3年生はココから下もチェックしよう！

④命令文+and／命令文+or

- 命令文の後に「,and～」と文を続けると「～なさい、そうすれば～です」の意味になります
 - Study hard, **and** you can pass the test. (真剣に勉強なさい、そうすれば試験に合格できます。)
- 命令文の後に「,or～」と文を続けると「～なさい、さもないと～です」の意味になります
 - Hurry, **or** you'll be late for school. (急ぎなさい、さもないと学校に遅れますよ。)

⑤neverを使った禁止の命令文

- don'tを使った文とほぼ同じ意味だが、neverの方が調子が強い → 「決して～してはいけない」の意味
 - **Never** give up. (決してあきらめてはいけません。)

【書きかえができる命令文】 命令文の一部は次のように助動詞の文で書きかえができます

- Play the piano. (ピアノを弾きなさい。) → **You must** play the piano. / **You have to** play the piano.
- Please** play the piano. (ピアノを弾いてください。) → **Will you** play the piano?
- Don't** play the piano. (ピアノを弾いてはいけない。) → **You mustn't** play the piano.
- Let's** play the piano. (ピアノを弾きましょう。) → **Shall we** play the piano?